

水産業分野の体系図

分野の目指す姿	若者が住んで稼げる元気な漁村		
分野を代表する目標	<u>漁業生産額(宝石サンゴを除く)</u> <u>水産加工出荷額</u>	現状(H29):470億円 ⇒ 4年後(R5):500億円 ⇒ 10年後(R11):530億円 現状(H29):199億円 ⇒ 4年後(R5):240億円 ⇒ 10年後(R11):260億円	

戦略の柱	1 漁業の構造改革	2 市場対応力のある産地加工体制の構築	3 流通・販売の強化	4 担い手の育成・確保
戦略の方向性	高知マリンイノベーションの推進により効率的な漁業生産体制への転換を進めるとともに、養殖生産の拡大や漁場の有効活用を促進するなど、漁業生産量の増大を図る。	輸出に対応した加工施設の立地促進や既存加工施設の衛生管理の高度化を進めるとともに、加工と一体となった冷凍保管ビジネスの推進により、産地加工体制を一層強化する。	「高知家の魚応援の店」や消費地市場とのネットワークを活用した販路拡大や海外有望市場への輸出拡大に取り組むとともに、産地市場の衛生管理体制の強化やIoT化など、機能強化を支援する。	漁業就業支援センターによる就業相談から就業後のフォローアップに至る総合的な取り組みを支援するとともに、担い手の経営安定に向けた経営指導や設備投資を支援する。
戦略目標	・鮮魚の県内市場取扱額(年間) ⑩89億円→⑤93億円→⑪97億円 ・養殖生産量(ブリ、カンパチ、マダイ、クロマグロ)(年間) ⑩19,772トン→⑤20,816トン→⑪22,783トン	・海外HACCP対応型加工施設の整備(累計) ⑩2件→⑤4件→⑪7件 ・養殖魚の前処理加工(年間) ⑩20億円→⑤50億円→⑪60億円	・「応援の店」への県内参画事業者の出荷額(年間) ⑩3.5億円→⑤5億円→⑪6億円 ・水産物の輸出(年間) ⑩3.1億円→⑤17億円→⑪20億円 ・産地市場の集約化(累計) ⑩32市場→⑤27市場→⑪18市場	・新規就業者数(年間) ⑩43名→⑤60名→⑪70名
取組方針・主な「具体的な取り組み」	1 効率的な漁業生産体制への転換 ◆ [拡充] 高知マリンイノベーションの推進による操業の効率化 ◆ 黒潮牧場15基体制の維持と機能強化 ◆ 産地市場のIoT化を推進 2 養殖生産の拡大 ◆ [新規] ブリの人工種苗生産の推進 ◆ 養殖業への新規参入の促進 3 漁場の有効活用の促進 ◆ 地元と協働した企業参入の促進 ◆ [新規] 新たな漁法の導入による生産量の増大 ◆ 生産力向上のための漁場づくりを支援 4 漁村におけるサービス業の創出 ◆ 遊漁や体験漁業の振興	1 加工施設の立地促進や機能等の強化 ◆ [拡充] 輸出に対応した加工施設の立地促進 ◆ 加工施設の機能強化や衛生管理の高度化 2 加工関連産業の強化 ◆ 加工用原料や製品の保管に必要な冷凍保管ビジネスの強化	1 外商の拡大 ◆ [拡充] 「高知家の魚応援の店」とのネットワークを活用した外商活動の一層の強化 ◆ 商談会等への出展による販路拡大を支援 ◆ 消費地市場とのネットワークを生かした取引の拡大 2 輸出の拡大 ◆ [拡充] 有望市場への輸出支援を強化 ◆ [新規] 輸出に適した加工用原魚の確保 3 産地市場の機能強化 ◆ 鮮度向上や衛生管理等の取り組みを支援 ◆ 産地市場の統合を推進 ◆ 産地市場のIoT化を推進(再掲)	1 新規就業者の育成 ◆ 漁業就業セミナーの開催や移住促進策と連携した勧誘の促進 ◆ 就業希望者を対象とした短期・長期研修の実施 ◆ 民間企業や漁協が行う漁業の担い手の育成を支援 ◆ [新規] レンタル漁船を活用した円滑な就業を支援 2 経営安定に向けた支援 ◆ 営漁指導員による経営指導を支援 ◆ [拡充] 新規就業者等の設備投資への支援